



# 営農ウィークリーNEWS

## 花菜 出荷最盛期を迎える



JA京都中央乙訓地域の冬季特産品「花菜」が出荷最盛期を迎えています。

今年は、9月以降に降雨量が少なく、その影響が心配されていましたが、例年に比べ高温傾向で推移したため順調に生育しました。

毎年恒例となっています飲食店向けへの食材提供においては、全農京都が運営する「みるのダイニング」京都ポルタ店向けに2月の期間限定メニュー「季節の膳」用食材を提供する予定です。

「花菜」の出荷は、今後3月下旬頃まで

続き、市場を通じて京都市内の量販店で販売され、50トンの出荷を見込んでいます。



### —TAC information—

## 京はたけ菜・生育状況確認



「京はたけ菜」は、京の伝統野菜の復興や地域特産物の技術伝承などを目的に全農京都府本部の提案により「畑菜」を「京はたけ菜」として、羽束師支店管内で2016年から生産販売を行っています。

まもなく出荷最盛期を迎えますが、1月22日、関係者で圃場を巡回調査致しました。

生育も良好で、高品質なものが期待されています。



# ネギにおける主要病害虫防除対策研修会

1月24日、経済部営農販売課では、淀支店で「ネギにおける主要病害虫防除対策研修会」を開きました。

ネギ黒腐菌核病の防除対策について



近年、環境の変化とともに病害虫の発生も多く、生産現場では被害が拡大傾向にあり、生産現場では、日々研鑽が続いております。

今回、最新の技術を学び安定生産を目指す目的で研修会が開かれました。

当日は、病害関係として、「ネギ黒腐菌核病の防除対策」をテーマに京都府農林水産技術センター生物資源研究センターの門馬悠介氏が講演。

害虫関係については、「ネギハモグリバエの生態と防除対策」をテーマに京都府農林水産技術センター農林センターの中島優介氏が講演されました。

ネギにおける主要病害虫防除対策研修会

ネギハモグリバエの生態と防除対策について

2024.1.24

京都府農林水産技術センター  
農林センター 環境部  
技師 中島 優介

